

市 研 特別活動 速報

【中学年部会】

発行日 平成28年10月14日

横浜市立小学校特別活動研究会

会 長 高橋 宏明

研究テーマ 明るい未来を切り開く子どもを育てる学級活動の在り方
～集団活動を通して、子どもの自尊感情を高めるためには～

活動名 「後期へ羽ばたけフェニックス！係バージョンアッププロジェクトを成功させよう！」

○活動のねらい

「後期へ羽ばたけフェニックス！係バージョンアッププロジェクトを成功させよう！」の活動を通して、一人ひとりの思いや願いに目を向け、自分たちの活動が学級の役に立っていることを実感し、進んで友達とかかわろうとする態度を育てる。

○テーマにせまるための具体的な手立て

- ・活動のめあてを意識して活動できるように、活動の係のめあてに沿った個人のめあてを明確にする。
- ・一人ひとりの日々の活動が友達から認められるよう、他の係の友達とペアを組み、「ペア丸太カード」を書いて、互いの頑張りを見合ったり励まし合ったりできるようにする。
- ・振り返りの場を設けることで、係のバージョンアップや、学級の成長につながっていることを再認識できるようにする。

○研究討議・講評から

- ・学級が成長する姿をみんなで共有し掲示したことで、活動の係や個人のめあてを具体的にすることができた。一人ひとりの役割が明確になることで、係のバージョンアップにもつながっていった。
- ・他の係の友達とペアを組み、「ペア丸太カード」を書く活動を積み重ねることで、活動過程に着目し、係以外の友達への思いや願いに寄り添えることができるようになった。ペアを隣に限定するだけでなく、選べるようになると、友達のよさを見ることができるようになる。
- ・活動のゴールの設定がはっきりしなかった。活動のめあてが、「係バージョンアップ」「友達のよいところ探し」と混合していたので一つに絞るとよい。活動後に「係バージョンアップ」ができていたかを価値付けすることで自分たちの成長を実感でき、やり遂げたときの自尊感情も高まるようになる。
- ・活動の過程で自尊感情を高める手立てを取れたことはよかった。しかし、活動のねらいを明確にし達成することで最終的に自尊感情を高めることを大切にしたい。めあてを達成した喜びや、活動をつくりあげた成就感を味わい、自分の思いや願いが実現していくことが経験できるような魅力ある活動になるよう考えていくことが大切である。